

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-8D_NC_2016(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)GLION本社ビル 新築工事	階数	地上10F
建設地	神戸市中央区新港町	構造	S造
用途地域	準工業地域・近隣商業地域	平均居住人員	1,130 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,物販店,集会所,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2019年8月1日
敷地面積	2,977 m ²	作成者	築田良, 澤田剛
建築面積	1,251 m ²	確認日	2019年8月5日
延床面積	11,365 m ²	確認者	矢川修宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.6	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 5.0
配慮の概要 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の認定を受けている事務所ビルである。そのため、各階に身障者用便所を設置、有効1800mm幅の廊下を確保するなど、高齢者、障害者をはじめ誰もが利用しやすいバリアフリー建築物として計画している。	配慮の概要 建築基準法で求められている耐震性を確保した。	配慮の概要 新港突堤西地区開発区域の全体デザインで東西の2棟のタワーマンションを船の帆、その間に建つ本建物を船首部とした海へ向かう双胴船のコンセプトを表現している。また、地区全体で外観・照明・外構コンセプトを共有し、海からの眺め、夜景を意識した照明計画、緑あふれる外構計画等を意識し、景観に配慮した計画とした。
その他の配慮事項 ・南面及び西面の主開口面には庇を設けることで直射日光を制御し、空調負荷を抑えるとともに、ガラス面が汚れにくくメンテナンス性に配慮した計画とした。 ・西面の開口部には外用ブラインドを設置し、西日対策を施し、空調負荷を抑えられるよう配慮した。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される